

三事研広報 NO.6

発行者 小林 和枝
編集責任者 小島 ちゆき

今年度も事務研究会の活動にご協力いただき、ありがとうございました。活動アンケートへのご協力もありがとうございました。いただいたご意見を今後の活動に生かしていきたいと思ひます。

今年度の三事研広報最終号は、研究部・研修部・情報部・特別委員会より今年度の活動のまとめ、鞆田小 馬岡さんより全事研セミナーの還流報告、員弁・伊勢支部の支部自慢で締めくくらせていただきます。

前向きに頑張ること。
それが大事!!!



研究部

今年度の研究部は、昨年より1名減の3名でのスタートとなりました。第5期中期研修計画の結びの年であり、「子どもの育ちを支援する学校事務を！」を3カ年の共通テーマとしながら、「子どもとともに成長する学校事務」を重点目標として、各種研修を研修部と連携しながら行いました。また来年度から始まる「第6期中期研修計画」については、「三事研セミナー」でも会員のみなさんの意見を聞かせてもらいながら、特別委員会と連携を図って立案しました。「教育活動の活性化に向けた学校事務の実現」を研修主題に、5年間で研修を進めます。研修講座など限られた時間のなかで、全ての研修を行うことは難しいことですが、研修のひとつのきっかけにしていだければと思います。今年一年、手探りの状態でしたが、ご支援いただき、ありがとうございました

研修部

今年度は、第5期中期研修計画の最終の年として、学校経営分野ではマネジメント能力の育成、危機管理能力について、基本分野では児童の虐待と現状について、職務遂行分野では新学習指導要領の実施に向けての研修等3講座を開催しました。又、自己研修成果発表では、これまでとは趣を変えて他県の若い事務職員の方の取り組みを発表してもらいました。県大会では、分科会発表支部の方々のご尽力はもとより、会員の皆様のご協力で無事終えることができました。他県の方の参加が思いの外多かったのは、三重県の学校事務への関心の高さが窺えたと思ひます。次年度は、第6期中期研修計画に基づき、これまでいただいたアンケートでのご意見・ご指摘を検討しながらよりよい研修講座を開催していきたいと思ひます。1年間、本当にありがとうございました

落ち込む時だってあるよ。
それを越えて強くなっていく。



情報部

ん？ちょっとぼっちゃり？
健康に気をつけなくちゃ…



情報部では、「各種調査」・「事務の手引」・「ホームページ」・「三事研広報」・「ひろば」を中心にして活動を行いました。

2月に行った活動アンケートで、情報部の活動に関わって会員のみなさんのご意見・ご感想等をいただきありがとうございました。

「事務の手引」については、「大変便利なものでよく使わせていただいています。」…。「ホームページ」については、「支部委員さんからHP更新の連絡をもらうと、必ず目を通すようにしています。」…。「三事研広報」については、「大変読みやすく、楽しみに読ませていただきました。」…。

「ひろば」については、「懐かしい人とのふれあいや、会員の様子を知り、ホッとさせられたり、励まされたり、これからもずっと続けて欲しいで

す。」…。たくさんの会員さんからの声をいただきました。

会員さんのからいただいた貴重なお声を、来年度の情報部の活動に生かしていきたいと思っています。1年間、支部委員さんをはじめ、会員さんのみなさまに助けていただき本当にありがとうございました。

特別委員会

今年度当初、会長より特別委員会設置及び委員の委嘱を受け活動を始めました。委嘱内容は5件でしたが、早期の検討課題である「中期研修計画立案」を最優先し、第3回研修講座に間に合うように、県事務研 研究部へ報告しました。限られた特別委員会の開催日を有効に活用できるよう、事務局長の原案提示、メールを活用して特別委員の個々による検討意見を集まったときに持ち寄り、会議時には活発に意見交換を行いました。

特別委員には、東海プロジェクト委員・全事研理事・東海大会松阪大会実行委員長を含み、各所属部署での担当業務の協力も委嘱事項に含まれていましたが、大きな協力も出来ず中期研修計画立案に終始した1年であったように思います。

終盤からようやく、「50周年記念事業の企画・立案」にとりかかりました。

委嘱内容は多岐に渡り大変ですが、委員個々の力量に期待して来年度も継続して検討を進めていきます。

たまには息抜きも必要さ！
だから頑張れる！



平成20年度全事研セミナーに参加して

伊賀市立鞆田小学校 馬岡 未央

3月5日、WBC 中国戦が行われている東京ドームを横目に、会場である文京シビックホール近くの宿泊先へ到着しました。セミナー当日は、あいにくの雨模様で、東京の3月も寒いなあと思いながら、会場へと向かいました。早めに受付を済ませ、会場に入ると、すでにたくさんの方が席についており、いよいよか、と自然と気分も盛り上がってきました。

文科省による行政説明では、新学習指導要領の改訂に伴う移行措置の概要について、「一言でいえば、いちごでもりんごでもなく、ぶどう(武道)の充実」、などむずかしいお話をジョークを交えてやわらかく聞かせていただきました。他に定数改善の話などもありましたが、中学校でのぶどうの必修化にむけた条件整備がいちばん印象に残ってしまいました…。

新しい時代の学校財務運営に関する調査研究事業報告、講義「学校の裁量権拡大と学校財務制度」、シンポジウム「学校経営ビジョンを実現する新しい時代の学校財務」と各タイトルにあるように、午後は学校財務を通して学校事務・事務職員のあり方だとか、学校経営への参画について考える機会となりました。学校マネジメント能力を向上させ、学校組織運営体制の中で地域や他の関係機関との連携を踏まえ、その資質と能力を十分発揮し、子どもたちの「人間力」育成のため、日々研鑽に努めていかなければならない、という言葉に胸に刻み、学校における行政事務のプロとして周囲の期待に応えられる事務職員でありたいと思いながら、帰路につきました。最後になりますが、年度末の忙しい時期にも関わらず、あたたかく東京へ送り出して下さった職場の皆さまと、東京まで一緒させていただいた皆さま、本当にありがとうございました

支部自慢 ~ 員弁支部 ~

員弁支部の共同実施は、いなべ市3グループと東員町1グループから構成されています。主に火曜日に開催され、各共同実施の事務室にて仕事をしています。今年度から、給与・旅費・手当の担当者が開かれるようになり、共同実施6間の横の連携を強めてきています。員弁支部の共同実施の体制はさまざまですが、各共同実施の仕事の質と効率をあげるために、担当者会で何ができるか模索しているところです。さて、員弁支部の春の観光スポットを紹介します。いなべ市には、4500本の梅が見ものの梅林公園の梅まつりがあります。また、梅林公園の梅で作ったジュースは美味です。6月ごろに梅の実もぎとり体験ができ、そこで梅ジュースを作ることができます。一方、東員町には、16、17歳の青年騎手が、華麗な武者姿で馬に乗り、約2.5mの崖を一気に駆け上がる猪名部神社の上げ馬神事があります。両方どちらもお勧めなのですが、どちらかだけでもぜひ遊びに来てください。今の季節はたくさんの杉の木が赤々としておりますので、花粉症の方は十分装備をしてからお越しくださいませ。

支部自慢 ~ 伊勢支部 ~

こんにちは、伊勢支部です。伊勢支部は共同実施協議会のもと、5つのグループが共同実施をすすめています。昨年10月の研究大会の際には、たくさんの方に伊勢支部の発表に足を運んで頂きました。本当にありがとうございました。分科会で頂いたアドバイスや、励ましの言葉を糧に、一步一步階段を上がれたらと思います。

これからの行楽シーズンは、伊勢の街は大賑わい。伊勢神宮で靈験新たな気持ちになるもよし、あの餅この餅を食べ歩くもよし。お待ちしております！

ありがとうございました

不安だらけでスタートした広報係。原稿依頼を
快く受けていただいたり、「読んだよ」「ご苦労様」など声をかけていただいたり、
みなさまに支えていただいて、1年間を終えることができました。1年間本当に
ありがとうございました。 広報係 小島ちゆき

ありがとうの気持ちを
忘れちゃダメね

